

## 講評

## I

出典 津堅信之『日本のアニメは何がすごいのか』、祥伝社、2014年

アニメという受験者にとって身近なテーマであり、取り組みやすかったと思いますが、筆者の意図からはずれて解答した答案もありました。客観的に読む訓練をするようにしましょう。

問1【漢字の書き取り問題】(解答番号は①～⑦)

「象徴」を「象徴」、「定義」を「定議」と書くなどの誤答が見られました。繰り返し練習するようにしましょう。

問2【空欄補充問題】(解答番号は⑧～⑩)

空欄Ⅰは既にあることを述べているので正答は③、空欄Ⅱは、放映だけでなく、字幕もという文脈なので正答は⑥、空欄Ⅲは前文をまとめているので正答は⑤となります。正答率は52%でした。

問3【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は⑪)

問題文2頁にある「この点」から始まる段落に注目することが必要です。正答は④です。正答率は52%でした。

問4【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は⑫)

正答は⑥です。設問個所の次段落の内容を踏まえる必要があります。正答率は43%でした。

問5【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は⑬)

正答は④です。空欄イを含む文をよく読む必要があります。

問6【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は⑭)

指示詞の問題です。直前の段落内容だけを指しているのではなく、海外のアニメファンが、アニメにのめり込んだ背景とweb上に違法アップロードする背景を押さえる必要があります。正答は⑤です。

問7【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は⑮)

次段落の内容から、日本のアニメファンが用語を使い分けていることがわかり、その使い分けは一般人とは異なることがわかります。正答は⑦です。正答率は60%でした。

問8【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は⑯)

傍線部Cを含む段落を押さえれば③が正答となります。正答率は42%でした。

**問9【内容合致問題】**（解答番号は17）

正答は④・⑥です。各選択肢の間違ひは以下のとおりです。①マスメディアの影響もあり、一般世間の中に入り込む、②背景にヤングアダルト向けのアニメの影響がある、③ファミリーコーナーのみに置かれている、⑤行為を後押ししているとは言えない、⑦分類することを止める議論が活発に行われるようになっている、⑧日本と全く同じ理由からそれらの語を使い分けているという事実、それぞれが本文にはありません。正答率は46%でした。

**II**

出典 山脇直司『公共哲学とは何か』、筑摩書房、2004年

「個人を活かしつつ公共性を開花させる道筋」を根源から問う公共哲学に関する啓蒙書です。論旨は明快ですが、専門用語もあり、やや取り組みにくい内容の文章だったかもしれません。

**問1【漢字の書き取り問題】**（解答番号は18～22）

正確に書けている解答は少なく、全問正答した受験者の割合は全体の2%でした。

**問2【空欄補充問題・前後の文脈から適語を選ぶ】**（解答番号は23・24）

空欄甲は宣伝などと同じく、自分の都合で主張する言葉が入ります。空欄乙は直前の「古典的な自然法をベースに」がヒントです。正答率はそれぞれ32%、54%でした。

**問3【空欄補充問題・本文全体の文意から適当な言葉を選ぶ】**（解答番号は25）

公共哲学はアメリカの社会科学界にあまり影響を与えなかったということ、公共哲学は超歴史的な理論ではないことを踏まえれば正答の⑤を導けるでしょう。正答率は39%でした。

**問4【言葉の意味を答える問題】**（解答番号は26）

日常的に用いられる言葉ですから、難しい問題ではありません。正答率は59%でした。

**問5【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は27）

11頁の後ろから14行目以下で公共哲学がどのような学問かの説明がなされています。この記述をよく読めば、⑥が正答であることは導けます。正答率は4%でした。

**問6【内容を理解して該当しないものを選択する問題】**（解答番号は28）

誤答として⑥が多かったですが、11頁の後ろから7行目を読めば誤答であることは明らかです。正答率は33%でした。

**問7【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は29）

傍線部Dの個所を含む段落の2つ先の段落を読めば正答は自明です。正答率は61%でした。

**問8【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は30）

多数の受験者が②を選択していましたが、「各学問分野間の相関関係を踏まえて」というような説明は本文には出てきません。正答率は19%でした。

**問9【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は31）

傍線部Fに続く文を読めば正答はすぐにわかるはずです。正答率は67%でした。

**問10【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は32）

本文の記述を正確に読み取ってさえいれば難しくない問題です。正答率は67%でした。

**問11【内容合致問題】**（解答番号は33）

まず、約半数の受験者が選んでいた通り、⑧が正答であることは本文の記述を一読すればわかるでしょう。もう1つの正答の⑨を選んだ受験者は極端に少なかったです。⑨の後半部の記述が本文に合致していることは、本文を丹念に読めばわかるはずです。誤答として④を選択した受験者が目立ちました。ここでの原因を求めたのはベラー達ではなく著者です。①・②を選択する受験者も散見されましたが、①は「普遍的な理念にもとづき」が、②は「現代的な意義を失って」が本文の内容に合致しません。正答率は完答ということもあって2%でした。